
第20回 山口県介護保険研究大会

開催要項

どうつুক্তた？ 地域包括ケアシステム ～地域共生社会と地域包括ケアシステム～

1 趣 旨

我が国では高齢化や人口減少が進み、生活の様々な場面において暮らしにおける人と人とのつながりが弱まる中、専門職はもちろんのこと、行政、地域住民等と連携・協働し、それぞれの地域の特性にあった包括的な支え合いの体制づくり、いわゆる地域共生社会の実現が、ますます重要となっている。

なかでも、高齢者・障がい者・児童等、地域で生活するすべての人々が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、医療、保健、福祉はもちろんのこと、行政や地域住民とより一層の連携が必要とされている。

そこで、医療、保健、福祉のサービス事業者等が一堂に会し、20年目を迎える制度がよりよいものとなるために、さらにはサービスの質の向上と職員のスキルアップに向けて論議するため「第20回介護保険研究大会」を開催する。

2 主 催

山口県介護保険関係団体連絡協議会

山口県医師会、山口県歯科医師会、山口県薬剤師会、山口県看護協会、山口県栄養士会、山口県医療ソーシャルワーカー協会、山口県理学療法士会、山口県作業療法士会、山口県老人保健施設協議会、山口県老人デイ・ケア協議会、山口県訪問看護ステーション協議会、山口県国民健康保険団体連合会、山口県老人福祉施設協議会、山口県地域包括・在宅介護支援センター協議会、山口県訪問介護事業所連絡協議会、山口県デイサービスセンター協議会、山口県介護福祉士会、山口県介護支援専門員協会、山口県社会福祉士会、山口県福祉用具協会、山口県在宅老所・グループホーム協会、山口県言語聴覚士会、山口県社会福祉協議会

【23団体で構成】

3 後 援 (予定)

山口県、山口県市長会、山口県町村会

4 日 時

令和元年12月1日(日) 午前10時から午後3時まで

5 会 場

山口県総合保健会館(山口県健康づくりセンター) 多目的ホール・第1研修室
〒753-0814 山口市吉敷下東3丁目1番1号
TEL:083-934-2200 FAX:083-934-2209

6 定 員

500人

7 内 容・日 程

	【多目的ホール】	【第1研修室】
9:00	受 付	
10:00	開 会	
10:15	シンポジウム 「地域包括ケアシステムの現状と今後の展望について」 地域包括ケアシステムを構築し、取組を進められている周南市、 下関市、防府市より、それぞれの地域でのシステムの立ち上げか ら構築までの進め方と、市独自の取組について伺います。 〈コーディネーター〉 山口県立大学 看護栄養学部 看護学科 教授 藤村 孝枝 氏 〈シンポジスト〉 周南市：おのクリニック 院長 小野 薫 氏 下関市：山口県介護支援専門員協会 会長 二井 隆一 氏 防府市：防府市健康福祉部高齢福祉課 主幹 中村 一朗 氏	展示コーナー ①業者展示 ②図書販売 ③福祉用具展示 ④各団体取組紹介
12:00	昼食・休憩	
13:00	特別講演（一般開放） 「高齢者・障害者・子どもなどすべての人々が、一人ひ とりの暮らしと生きがいを、共に創り高め合う社会「地 域共生社会」の実現～人をつなぐ。地域をつなぐ～」 〈講師〉 社会福祉法人佛子園 理事長 雄谷 良成 氏	
15:00	閉 会	

シンポジウム 内容

《周南市》おのクリニック 院長 小野 薫 氏

周南市では平成27年度より、人生の最期を自宅で迎えるという選択ができるよう、医療・介護関係者で構成される「あ・うんネット」を設立し、取組を進めている。「自分らしい暮らしを最後まで続けられる周南市の実現」を目指し、設立に向けての経緯や、医療と福祉がどう連携をしていったか、そして、システムを進めていく上での現状や課題について、医師の視点からお話をさせていただく。

《下関市》山口県介護支援専門員協会 会長 二井 隆一 氏

下関市では、平成22年度より「下関市医療・介護ネットワーク」が設立され、医療と介護のスムーズな連携のために顔と顔の見える関係作り、他職種間の相互理解、信頼関係の構築などを目指し、専門職団体の代表者が企画や準備を行い、研修会を開催している。設立にあたっての経緯や、他職種間とどう関係性を構築していったか等について、福祉の視点からお話をしていただく。

《防府市》防府市健康福祉部高齢福祉課 主幹（政策担当） 中村 一朗 氏

防府市は、介護予防と生活支援の一体的提供や地域の各主体の協働によるサービスにより、厚労省「第7回健康寿命をのばそう！アワード」老健局長賞を平成30年11月に受賞した。現在、高齢者が「ふつうに暮らせる幸せ」を提供する体制の整備として、アセスメントへのリハ職の同行訪問、短期集中予防型通所サービスと自立支援型地域ケア会議による多職種連携の取り組みを進めている。

平成30年度及び令和元年度の厚労省老健局の研究事業委員として、また行政の視点から多様な関連施設・機関の協力のもと、高齢者の生活支援を総合的に取り組む状況についてお話をしていただく。

特別講演 講師紹介

雄谷 良成（おうや りょうせい）氏

1961年金沢市生まれ。祖父が住職だった日蓮宗行善寺の障がい者施設で障がい者らと一緒に育つ。福祉の理論を学ぶため金沢大学へ進学するが、机上の学問に飽き足らず、次の福祉のヒントを求めて、青年海外協力隊の指導員養成のプログラムに参加。帰国後は北國新聞社に入社し、地域おこしのイベントなどを担当。1994年に実家の佛子園に戻り、「星が岡牧場」「日本海倶楽部」「三草二木 西圓寺」「Share 金沢」など、地域交流のコミュニティ拠点を作る。日蓮宗普香山蓮昌寺の住職でもある。

2014年3月にオープンした「Share 金沢」は、佛子園が病院跡の敷地に住まいや文化施設などを配置し、一からつくり上げた街です。「私がつくる街」をコンセプトに計画段階から地元の自治会や町民館などの人たちを巻き込み、ドッグランも住民の要望で実現しました。

子どもや大学生、高齢者まで、世代や障がいの有無を超えて、さまざまな人が一緒に暮らし、フリーマーケットなどの企画や施設の運営など、暮らしに関わることは住民参加で決めていきます。地下600mから湧き出す天然温泉やカフェは、地元の人など誰もが気軽に利用でき、同じ館内に高齢者や障がい者のためのデイサービス、訪問介護の機能も備えています。

街の中心部にはサービス付き高齢者向け住宅と学生向け住宅が隣り合って建ち、家庭菜園や農園で一緒に土いじりを楽しむこともできます。周辺には高齢者が交替でレジを打つ共同売店やクッキング教室、クリーニング店などのほか、近所の子どもたちが走り回る全天候型グラウンドやアルパカの牧場まであります。

音楽や芸術を楽しみたい人、温泉や農園、ショップで働きたい人、ワイングラス片手に語り合いたい人、いろんな人が混じり合い、共に暮らすのが「Share 金沢」なのです。



8 参加費

2,000円〈資料代〉【大会当日、受付でお支払いください。】

9 参加申込方法

「第20回山口県介護保険研究大会参加申込書」に必要事項を記入し、下記へFAX又は郵送でお申込みください。

10 申込締切日

令和元年11月11日（月）必着

11 留意事項

- (1) 昼食については、会場で「お弁当（お茶付・税込み600円）」を斡旋いたします。必要な方は、大会当日の受付時間内（午前9時から午前10時まで）に食券を購入してください。【参加費に昼食代は含まれていません。】
- (2) 会場の座席数には限りがありますので、時間により立見となることもあります。
- (3) 会館敷地内の駐車場につきましては、関係者専用となっています。来場者の方は下記「会場周辺地図」の専用駐車場及び臨時駐車場等を利用してください。
- (4) 駐車場に限りがありますので、参加にあたっては、公共交通機関の御利用や自動車の相乗りの御協力をお願いします。

12 申込み・問合せ先

山口県介護保険関係団体連絡協議会

〒753-0072 山口市大手町9-6（山口県社会福祉協議会 地域福祉部 内）

TEL(083)924-2828 FAX(083)924-2847

E-mail kaidankyo@yg-you-i-net.or.jp

【会場周辺地図】



